

- ① 4:8-9 6つの心にとめること
- ② 4:10-13 キリストによって満ち足りる。
- ③ 4:14-20 惜しみのない祝福
- ④ 4:21-23 結びのあいさつ

① 4:8-9 6つの心にとめること

主イエス・キリストにおいて

真実なこと	⇔	不真実なこと
誉あること		誉ないこと
正しいこと		正しくないこと
清いこと		清くないこと
愛すべきこと		憎むべきこと
評判の良いこと		評判の悪いこと

② 4:10-13 キリストによって満ち足りる。

v.11-12 パウロの困難：cf 2 コリント 11:23-29

2 コリ 11:30 「私の弱さを誇る」

2 コリ 12:9-10 「弱い時に強い」

③ 4:14-20 惜しみのない祝福：救われたものの特徴の一つ

※ *γενναίο δωροῖα* (*gennaiodoria*)/

**generosity**: 寛大さ? ⇒ 「気前良さ」 / 「御国に富を積む」 / 「物質主義からの解放」

Cf.1 2 コリント 8:1-5 「聖徒を支える恵みにあずかりたい。」

Cf.2 ザアカイ(ルカ 19:1-9)

2 コリ 8:7

あなたがたは、すべてのことに、すなわち、信仰にも、ことばにも、知識にも、あらゆる熱心にも、私たちから出てあなたがたの間にある愛にも富んでいるように、この恵みのわざにも富むようになってください。

⇒救われたものの特徴の一つ

④ 4:21-23 結びのあいさつ

v.22 聖徒たち全員が・・・カイザルの家に属する人々⇒皇帝の親衛隊

cf. 2 テモテ 4:2 「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりとやりなさい。」

ジョン・カルビンの説教のことば

「it is evidence of divine mercy that the Gospel penetrated that sink of all crimes and iniquities」

※ジョン・カルビン：John Calvin ルターと並び称されるフランスの宗教改革神学者  
(1509年7月10日 - 1564年5月27日)

---

ピリピ人への手紙のピック・テーマ

○主においての「喜び」⇒

○主においてふさわしく生きる。⇒

○主においての「交わり」⇒